

令和4年度 個人積算線量測定  
子どもたち（中学生以下）の  
測定結果をお知らせします



ターゲット 3.4

令和5年1月20日

郡山市子ども部子ども政策課

課長 伊藤 恵美 TEL:924-3801

郡山市学校教育部学校管理課

課長 二瓶 元嘉 TEL:924-3421

SDGs ターゲット 3.4 「全ての人の健康的な生活を確保する」

子どもたちが外部から受ける放射線量について、令和4年度の測定結果は次のとおりです。  
なお、測定結果について、郡山市原子力災害対策アドバイザーの方々から測定者全員が「健康に影響を与えるような数値ではない」とする専門的な見解をいただいております。

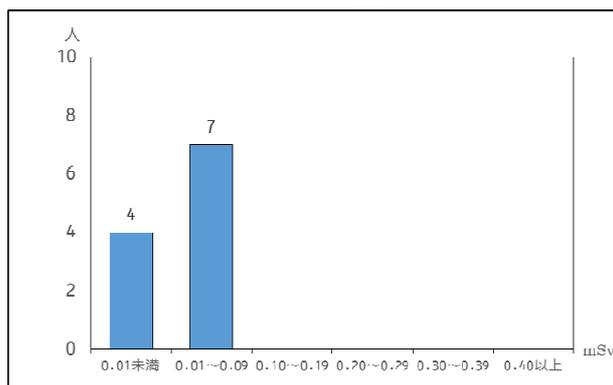
- 測定概要
  - 測定者数 未就学児童 11人  
小・中学生 165人
  - 測定対象期間 令和4年9月1日(木)～令和4年11月9日(水) 70日間
  - その他 測定結果の数値は、測定対象期間の自然放射線被ばく相当量 0.12mSvを除いた数値

2 測定結果

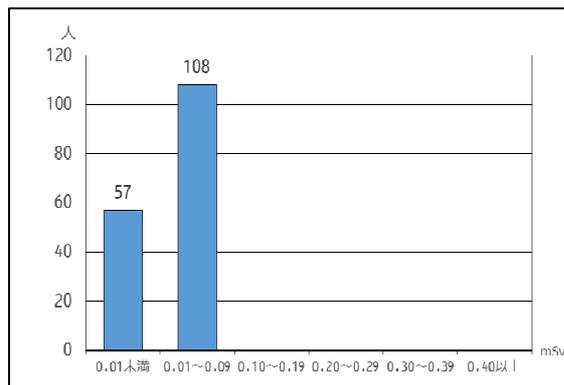
対象	人数	平均値	最高値	最低値	年間推計値
未就学児童	11人	0.015mSv	0.05mSv	0.01mSv 未満	0.08mSv
小・中学生	165人	0.02mSv	0.08mSv	0.01mSv 未満	0.10mSv

測定結果分布図

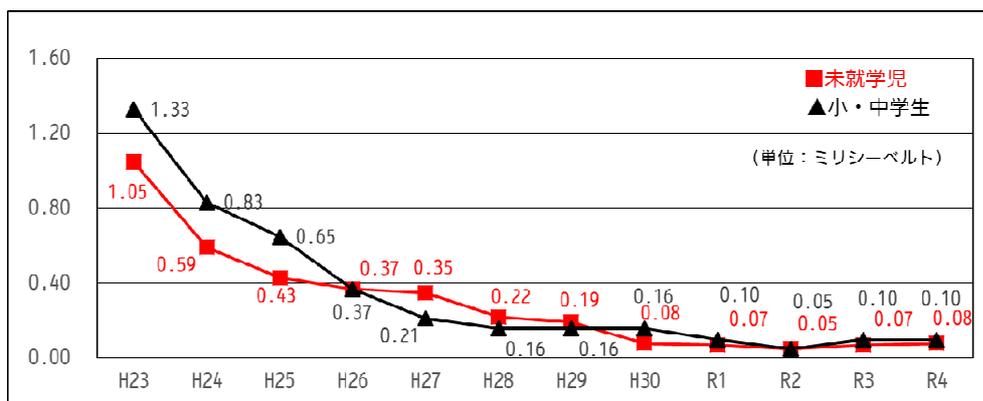
(未就学児童)



(小中学生)



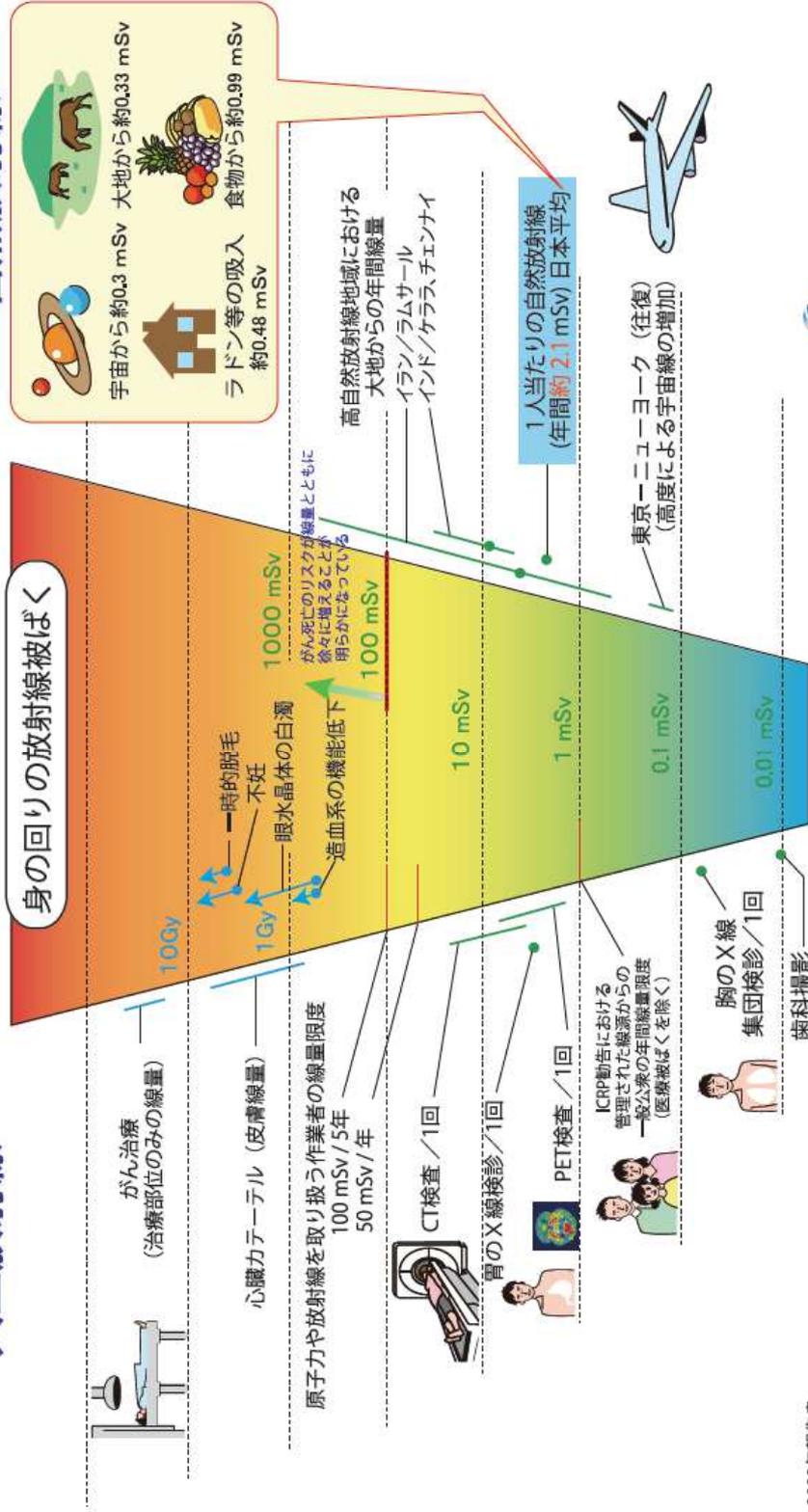
個人積算線量の平均値を年間の積算線量に換算した場合の推移



# 放射線被ばくの早見図

## 人工放射線

## 自然放射線



・ UNSCEAR 2008年報告書  
・ ICRP 2007年勧告  
・ 日本放射線技術師会医療被ばくガイドライン  
・ 新版 生活環境放射線 (国民線量の算定)  
などにより、政医研が作成 (2018年5月)

【ご注意】  
1) 数値は有効数字などを考慮した概数です。  
2) 目盛 (点線) は対数表示になっています。  
3) この図は、引用している情報が更新された場合  
変更される場合があります。

【線量の単位】  
各臓器・組織における吸収線量: Gy (グレイ)  
放射線から臓器・組織の各部位において単位重量あたりに  
どれくらいのエネルギーを受けたのかを表す物理的な量。  
実効線量: mSv (ミリシーベルト)  
臓器・組織の各部位で受けた線量を、がんや遺伝性影響の感受性について  
重み付けをして全身で足し合わせた量で、放射線防護に用いる線量。  
各部位に均等に、ガンマ線 1 Gy の吸収線量を全身に受けた場合、  
実効線量が1000 mSv に相当する。